



# 高輪だより

令和2年度2月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

## 「節分に思う」

園長 柿沼 敦子

2月を迎え、5歳児の登園日数は、残すところ30日余りとなりました。3歳児、4歳児も進級に向けての準備がそろそろ始まることでしょう。日本で最初に新型コロナウイルス患者が報告されてから1年が過ぎました。しかし、残念なことに今年1月8日に2度目の緊急事態宣言が出され、まだ先が見えにくい状況が続いています。

さて、今年の節分は2月2日です。「豆」は「魔滅（まめ）」に通じ、豆まきをして無病息災を祈る日です。各学年でいろいろな鬼を製作しました。子どもたちにどんな鬼を追い出したいか聞いてみました。3歳児は、「あのね…赤オニ!」「私は違うの…青オニ!」と自分で作ったオニの色を浮かべたのでしょうか。4歳児に聞いてみると「私は…寝坊オニ」「泣き虫オニ…」「テレビ見過ぎオニ」「(おもちゃを)欲しがりオニ」などと、自分の中の追い出したい鬼が分かっているようでした。5歳児には、どうして節分に豆まきをするのかを聞いてみました。「悪いものをやっつけて、いいことがいっぱいになるようにするの」私が「悪いものって…?」と聞いてみると、「どろぼうとか…あ! コロナだよ。コロナを退治する!」さすが5歳児、社会の事象に関心をもっていました。私も節分という機会にもう少し努力することを考えてみたいと思いました。

豆まきの豆に、どうして炒った豆を使うかというと、火を通さず、そのままの豆をまいて芽が出てしまったら、追い出したはずの悪いものがまた育ってしまうからなのだそうです。今年は、しっかり、しっかり火を通した炒り豆を使って、「鬼はそと!」とコロナウイルスを撃退し、安心・安全な世の中になる願いを込めながら「福はうち!!」と福を呼び込みましょう。

節分の翌日は立春。園庭では菜の花が咲き始め、朝早く小鳥がさえずり、厳しい寒さの中でも春の訪れを感じます。各学年の子どもたちは、4月からの進級、進学という新しい生活に向けて、自信を高めていく時期です。園生活でもご家庭でも良いところを「ぽかぽか」する言葉で応援し、子どもたちが、その日を「わくわく」しながら「笑顔」で待つ日々にして参りましょう。

<3歳児>オニ 貼り絵とクレパス画



園庭に実った夏ミカン



<5歳児>オニ 紙袋を使った製作



<4歳児>オニ はじき絵



最初に咲いた菜の花

